



島田順子さん顔

島田順子さん

南伊豆町湊にお住いの島田順子さん(72歳)は2013年10月にシニアサロン弓ヶ浜「まめたいかい？」を創設しました。きっかけは町がサロン新設を呼び掛ける勉強会に出席し、アシスタントならやりますと申し出たところ、自分が主催者をやる羽目になってしまったそうです。

最初は映画会や講演会をやってみたものの評判は芳しくなく、グラウンドゴルフや卓球、ハイキングなど参加型の行事に切り替えたところ好評を得ることが出来るようになったそうです。



IMG 4009

取材の日は下田のグループを招いて大人も熱中する積み木「カブラ」を楽しみましたが、それは後程詳しくご報告します。まずは簡単に島田さんのご紹介。

島田さんは北京市生まれ、物心つく前に帰国、山口、東京、京都、神奈川などで暮らした後、8年前定年退職を機に南伊豆町湊に移住しました。運転免許を持たない島田さんご夫妻は暗くなったらほとんどの店が閉まり、バスもなくなる生活に当初戸惑ったとおっしゃいます。



IMG 4017

島田さん作子供向けジオの絵本 町美術展にサロンで陶芸作品を出品



IMG 3678

それでもくじけずジオパークガイドの資格を取得、子供向けジオパークを解説する絵本「火山のおみやげ 伊豆半島～おかしに似てるよ～」を出版したりしました。3年前にはシニアサロン「まめたいかい？」を立ち

上げました。まめたいとは静岡弁で良く働くこと。元気と言う意味だと勘違いした島田さんは「元気かい？」と言う意味で命名しましたが、「ちゃんと働いているかい？」と言う意味になっちゃったと苦笑いです。

「まめたいかい？」は色々なことに体当たり。陶芸初心者を引き連れ、お茶会を開きたいので「抹茶茶碗」を作りたいと地元の陶芸家をお願い、「初心者は皿などから始め、抹茶茶碗は最後に取り組むもの。」と呆れる陶芸家を説得しました。



[IMG 3898](#)



[IMG 3900](#)

さてお待たせいたしました。積み木「カプラブロック」をご紹介します。フランス生まれのカプラブロックは縦横高さが1:3:15の薄い木の板です。全て同じ大きさ・形の板を積んで色々なものを作ります。崩さず積むには微妙な力加減と集中力が求められます。まずは基本の積み方の練習です。意外と短時間の間にたくさんの物を作ることが出来、勿論途中で壊れたりするのでとても興奮します。



[IMG 3960](#)



[IMG 3933](#)

この日は1時間強で、基本の積み方、高さ競争、チーム対抗ナイアガラの滝、皆で思い思いの建物を作るまめたい国の建設を楽しみました。「皆の作品を途中で壊してしまったらどうしよう」と緊張しながら、真剣なまなざしで黙々と積む方、楽しそうに積む方それぞれです



[IMG 3925](#)



[IMG 3973](#)

2チームに分かれて作ったナイアガラの滝を崩します。端から順番に崩れて全部倒れたら拍手喝采です。カプラブロックは一見なんの変哲もないただの板にみえますが、防腐剤が必要ないヤニが出ない特殊なフランス海岸松と言う木を使っている為、簡単には真似が出来ないそうです。木材の豊富な南伊豆町にとっては残念。軽さや、質感、倒れるときの美しい音などがカプラならではの特徴だそうです。



[IMG 3996](#)

みんなで作った「まめたい国」の前で記念撮影

今回、「まめたいかい？」に出張してカプラブロックを指導してくれたのは下田のグループ「遊・VIVA(あそびば)ネットワークです。黄色いTシャツを着た人達6名が見事にカプラブロックの楽しさを伝えてくれました。遊・VIVAについては機会があればもっと詳しく別途ご報告したいと思います。

「まめたいかい？」は現在65～75歳を中心に会員が約20名。「もっと男性の参加を増やしたい。」と知恵を絞っておられます。「灯台下暗し、身近な地元の宝物に気が付いてもらい家の外に出かけるきっかけ作りが出来たら良い。」ともおっしゃいます。島田さんの体当たり精神でシニアが明るい町になるのが楽しみです。

生きがい特派員賀茂地区担当 福居通彦